

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

# MELDIA

障がい者と共に

## 創る

障がい者と共に

## 歩む

大矢真那による取材

障がい者を応援！

### 手づくりマーケットin新宿区×大矢真那

布施博による取材 布施博が訊く

### Necco / Neccoカフェ×布施博

作業療法士の仕事

### 作業療法士 野村寿子

MELDIA Café #2

### MELDIA Café 開催詳報

人気連載エッセイ 障がいのある息子と私

### 水越けいこの「M size / はじまり」

月刊メルディア  
VOL.16

TAKE FREE

MELDIA

2019  
APR. VOL.16

月刊MELDIA VOL.16 2019年2月25日発行(毎月1回25日発行) 第16号 通巻16号  
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE



Design Your Life

## MELDIA GROUP

# 同じ家は、つくらない。



## メルディアグループ

<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計  
〒163-0632  
東京都新宿区西新宿1-25-1  
新宿センタービル32F

25th  
ANNIVERSARY

まだ25年、  
これからのメルディア

大矢真那の  
手づくりマーケット  
in新宿区

# 来て！見て！知って！わたしたちのこと 手づくりマーケットin新宿区



新宿駅という場所柄もあり、たくさんの人通りの中、多数の人が足を止めて商品を手にとっている。珍しげに眺めながらもそのクオリティに感心しているようだ。

2018年12月4日と5日の2日間に渡って「手づくりマーケットin新宿区」が新宿駅西口広場イベントコーナーで開催されました。このイベントは、新宿区内の福祉施設などで製作された雑貨、アクセサリ、パン、お菓子などを販売する共同バザールです。その他にも、障がいのある人たちが製作した手工芸品や絵画などを展示する作品展、パラリンピックスポーツ体験コーナー、身近な道具で知的障がいの疑似体験ができるコーナーなどが用意されていました。

また、特設ステージでは障がいのある人たちも参加しての各種パフォーマンスやライブなど、盛りだくさんの内容のイベントでした。同イベントに出店している福祉施設の人たちや利用者さんたちにお話を伺いました。

デザインが凝って  
どれも可愛い！  
どれもキレイ！



【株式会社あしか】  
魅力いっぱい雑貨屋さん。

幸子 配色なんかも私が考えているんですよ。  
大矢 実は私、着物が大好きなんです。着物の生地を使った商品もありますね。  
幸子 色んな所から不要になった着物を寄付して頂いてその生地を再利用しているんです。  
大矢 すごくきれいです！  
幸子 他にも、毛糸や、アロハシャツなどを寄付して頂くこともあって、それらもリメイクして商品として並べています。  
大矢 例えばこのバッグだと、1個作るのにどれくらい時間が掛かるんですか？  
幸子 私の場合、1日の作業時間が4時間なので、1個作るのに2日から3日くらい掛かります。設計図(型紙)が出来て量産体制に入ればもう少し早く作れます。  
大矢 幸子さんにはどんな障がいがあるんですか？  
幸子 私は、いわゆる「うつ」ですね。大きくは「精



株式会社あしか  
東京都新宿区新宿一丁目 2-8  
国久ビル5階 A室  
TEL / 03-6273-1021  
<http://ashica.net/>



自身の作品について楽しそうに語る幸子さん。聞いている側の私も心が和みました。彼女の作った一点モノのバッグはすごくカワイイ感じでした。しかも使い勝手も計算されていて素敵でした。魅力いっぱいの「雑貨屋さん」でもありました。

神障がいには分類されず。  
大矢 こういった細かい縫製作業をしていて、障がいがあることで体調が崩れたりすることはありませんか？  
幸子 私の場合は、モノを作ることが大好きなのでむしろ仕事をしている時の方が気持ちが安定しているくらいなんです。  
大矢 そうなんですか。  
幸子 現に今も、こうやって大矢さんに喜んで頂けてとても嬉しく思っています。

※被取材者のプライバシーに配慮して一部仮名としています。

参加するだけでも楽しい催事  
活気あふれる各種のイベント  
会場が大盛り上がりを見せる「手づくりマーケットin新宿区」ですが、まずは以前に布施博さんが取材で伺ったおせんべい屋さん「コンフィデンス早稲田」さんにお邪魔しました。  
大矢 おせんべい美味しそうですね！ このイベントでの売れ行きはいかがですか？  
販売員 お陰様で好調です。  
大矢 このお店にはスタッフが数名いらっしゃいますか、この人たちは？



【コンフィデンス早稲田】  
心のこもったおせんべい屋さん。



種類も多くて、  
どれも美味しい

販売員 コンフィデンス早稲田の職員と、施設利用者さんたちです。今日ここにいらっしゃる利用者さんたちは、販売の仕事が特に好きな人たちに来てもらっています。  
大矢 利用者さんたちは作業所で普段はどんな仕事を担当しているんですか？  
販売員 おせんべいの袋詰めや、ラベル貼りなどをやっています。  
大矢 今回のイベントに出店するにあたって準備はどれくらい前から始めたんですか？  
販売員 仕入れなどを含めれば一ヶ月くらい前からですね。  
大矢 結構前から準備しているんですね。このイベントへの出店の準備で大変だった事などはありましたか？  
販売員 まとまった量の商品を用意しなければなら



コンフィデンス早稲田  
東京都新宿区西早稲田 2-18-22  
TEL / 03-6233-9714  
<https://confidence-s.com/>



らないので、それは大変でしたね。でも、出店の準備は利用者さんたちに手伝って貰いながら行ったので、何ら問題はありませんでした。大矢さん、良かったら試食してみませんか？  
大矢 良いんですか？ いただきます！  
ホワイトチョコを使ったおせんべいや、人気商品だというザラメをまぶしたおせんべいなどを試食させていただきました。どれも本当においしかったです！  
販売員さんのお話を聞いて、商品の包装に目を向けると、どれもすごく丁寧に梱包されていて、利用者さんたちが心を込めて作業しているのが容易に想像できました。  
ハート形のおせんべいなどもあって、売り場は見ても可愛かったです。

一般財団法人メルディア

# MELDIA

おかげさまで「一般財団法人メルディア」は設立1周年を迎えることができました。当財団では、障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じ、広く社会と人々に貢献するため、これらの事業を行っています。

## 02 広報誌の発行

障がいのある方と、そのご家族への情報発信を行うため、フリーペーパーの広報誌「月刊メルディア」を毎月発行しています。毎月2万部強を発行し、現在は、首都圏および中京エリアの大型商業施設や大型店舗、特別支援学校、全国の障がい者支援施設等にて無料配布しています。



## 04 サッカー支援

才能があっても家庭の経済的な事情などで、プロプレイヤーを目指すことをあきらめざるを得ない青少年たちの夢を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。2019年2月現在、選考会を経て選ばれた3名の若者に対する支援を行っています。



## ALL ABOUT MELDIA

メルディアとは、「メダル」を意味する英語の「MEDAL(メダル)」とイタリア語の「MEDAGLIA(メダリア)」を合わせた造語となっており、終の棲家を手に入れる喜びを「栄光に輝くメダルを手に入れるような喜び」に見立てています。誰も人生は一度しかないものです。

### ■ 財団概要

名称 一般財団法人メルディア  
(英文名: General Foundational Juridical Person MELDIA)  
設立者 小池信三  
設立日 2017年5月23日

## 01 事業内容

- ① 障がい者及び障がい者を支援する団体等への助成および支援事業
- ② 様々な理由からスポーツ(サッカー等)を続けることができない児童、青少年に対する助成および支援事業
- ③ その他の事業



## 03 取材活動

広報誌「月刊メルディア」では、障がい者支援事業所、障がい者雇用を推進している企業、スポーツ施設、各種団体、障がいのあるアーティストなどに取材をさせていただき、それらを掲載しています。取材記を当財団のFacebookページにでも紹介していますので、是非そちらも併せてご覧ください。



## 05 サッカー観戦チケットプレゼント

Jリーグのシーズン開催期間中は、「湘南ベルマーレ」のホームゲーム観戦チケットをプレゼントしています。療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの人と介添者の人、2名1組(ペア)で試合を観戦できます。



MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



一般財団法人メルディア  
Meldia Foundation

所在地 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F  
電話 03-5381-3213  
URL <https://meldia.org/>  
MAIL [org@gf-meldia.com](mailto:org@gf-meldia.com)

## 障がい者を応援 手づくりマーケットin新宿区

次に取材したのは、東京ムツミ会「ファロ」さんです。同施設の利用者さんたちが製作した七宝焼の小物を販売しています。こちらでは以前にも取材でお会いした「ファロ」の徳堂泰作さんにお話を伺いました。

大矢 綺麗な色の作品ばかりですね。これは利用者さんたちが作っているんですね？

徳堂 そうです。

大矢 利用者さんたちは製作のどの部分を担当しているんですか？

徳堂 色付けの作業です。七宝焼は色を着けるための作業がとても繊細で、材料のちよつとした



【東京ムツミ会 ファロ】個性が映える七宝焼のアクセサリ。

加減ですぐに色が変わってしまっんです。

大矢 難しい作業ですね。

徳堂 色を着けるための材料の配合を覚えるだけでもすごく時間が掛かりますし、繊細さが要求される作業なんです。でも、障がいのある人たちが持つ「個性」が、繊細な作業に向いているのではないかと、とも思っています。

大矢 一個一個が微妙に違っていて、それを見るだけでも楽しく感じます。

徳堂 私たちの作る七宝焼は全部手作りなので、ここにある商品の全てが一つとして同じものが無いんです。それも、私たちが販売する商品の魅力であると思っています。

大矢 価格の設定もお手頃な感じですね。

徳堂 ええ。利用者さんたちが一生懸命に作った商品を実際に手に取ってもらうことで、彼らの活動を多くの人に知ってもらいたいという意味も込めた価格設定にしています。



ネットに  
リアルに  
リアルに  
リアルに



### 取材後記

新宿駅西口という場所柄もあるのか、駅を利用する人たちが足を止めてイベント会場に立ち寄る姿が多く見受けられました。

今回のように複数の福祉団体が一同に会して開催されたイベントを見ると、障がいのある人たちが製作したアイテムには雑貨や食品だけでなく「工芸品」に至るまでと、広いカテゴリーと多くのアイテムがあることが分かりました。

障がいのある人たちが製作に携わった商品の数々を目にすることで、「障がい」に対する知識や理解がより深まる可能性もあるのだなあ、と思った取材でした。

取材・大矢真那

大矢 障がいについてを多くの人たちに知ってもらうことにも繋がるということですね。

徳堂 そうです。そこは、福祉施設の多くが最も重視している部分ではないでしょうか。商品を購入して頂くだけでなく、それを機に障がいのことを多くの人たちに知ってもらうことになると思います。

社会福祉法人東京ムツミ会ファロ  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-16-16  
テアールカテリーナ3階

TEL / 03-3350-4437  
<http://www.mutumi.or.jp>



グレーゾーンの根っ子も照らす一縷の光となるカフェ



Necco代表 金子 磨矢子 × 布施 博

日本初の大人の発達障がい当事者による居場所

Necco 東京都新宿区

昼間はカフェとして営業し、夜は発達障がいのある人を中心に、その友人、家族、研究者らが集まるフリースペースとして店内を開放しているのが、東京都新宿区にある「Neccoカフェ」だ。

同所に集う有志らによって各種のイベントや会合が催され、その開催は年に100回以上にもなるという。中でも、開催毎に参加希望者が引きも切らない「グレーゾーンの会」は人気で、その他にも「ゆる親の会」や「アナログゲーム会」などユニークで多彩な催しが行われている。

発達障がいのある当事者や、「グレーゾーン」にカテゴライズされている人たちの現状などを同所の代表を務める金子磨矢子さんに俳優・布施博が訊いた。

多様性により診断さえが困難「障がい」の境界線の難しさ

布施 こちらのカフェは発達障がいのある人たちが集まって開いたカフェだそうですね。

金子 はい。元々はSNSで知り合った私も含めた発達障がいの当事者たちが、自身のことや悩みを話せる「オフ会」を開いていたのが始まりです。でも、参加者の中には発達障がいの種類によって、普通のレストランや居酒屋などの騒然とした雰囲気苦手な人もいたんですね。そこで、公民館などを借りて開催していたこともありましたが、最終的には自分たちの居場所として部屋を借りることにしました。その場所以てカフェを運営することにしたんです。

布施 金子さんも発達障がいがあるんですか？

金子 私はADHD(※)という症状があります。ADHDにも色々な種類があるんですが、私の場合は「片付けが苦手な人」という感じですね。

布施 最近、ADHDについてはテレビなんかでも取り上げられることが多いですよ。でも、「私はADHDだ」と言われても、外見からは全く分からないですよね。

金子 実はそれが発達障がいの当事者にとって、難しい所でもあるんです。

布施 「発達障がい」というのはどんな人たちを指すのですか？

金子 一概には言えません。「ここから発達障がい」という明確な線引きが専門家にも出来ない、というのが定説になっているようです。線引きが出来ないくらい曖昧なことなんですよ。

布施 発達障がいに悩む人たちをサポートする制度が整えられて来たのは比較的まだ最近ですよ。だからこそ、未だ不明瞭で曖昧なのかも知れないですね。金子さんの周囲には、どんな症状に悩んでいる人たちがいますか？

金子 例えば、私のような「片付けられない」というADHDとは反対に、片付け過ぎてしまう人や何でも捨ててしまう人もいます。聴覚や嗅覚、その他の感覚が鋭すぎる人もいますね。周囲の明暗が急に変化すると怯えたり、大きな音や振動を怖がりたりする人もいます。中には全く逆で、感覚が鈍すぎることに悩んでいる人もいます。

布施 なるほど。発達障がいに悩む人が千人以上、千通りの症状があると。本当に多様なですね。人によって症状が違うのであれば、そこに線引きをしようというのは専門家でも難しいんですよ。「片付けすぎてしまう」ということだけを聞いても、私にはそれを「障がい」と言っているのかすら分からないですが。

金子 症状の種類が多いただけでなく、その度合いも人によって様々なんですよ。

布施 専門家でも判断が難しいんだから、私には想像すらできないですよ。

金子 しかも、傍から見てもその人に発達障がいがあるかどうか？なんて殆ど分からないですから、症状が出たとしても、周囲からは「手を抜いている」だとか、「大袈裟だ」とか思われるだけで、それで終わってしまうことが少なくないんです。

布施 外見からは障がいがあるのかどうか分からないのでは、障がいに配慮しようとする気持ちを持っている人だとしても、それに気付いてあげられないという可能性はありますね。

金子 個人的な意見なんですけど、発達障がいをサポートする制度が敷かれる前と今とを比べて、当事者の環境が本当に良くなっているのか？って疑問に思う部分があるんです。



Necco / Necco カフェ  
東京都新宿区西早稲田 2-18-21 羽柴ビル 202  
TEL-FAX / 03-6233-7456  
https://neccocafe.com/



※ADHD/注意欠如・多動性障害のこと



布施 博  
Hiroshi Fuse

合いなど、様々なことを総合して考えてなきゃいけないからこそ「グレーゾーン」でもあるわけなんです。

金子 発達障がい当事者たちを取り巻く環境の殆どがグレーだと言っても過言ではないかもしれません。

布施 それについて社会の理解が進むためにはどうすればよいと思いますか？

金子 そもそも、「障がいに関して全く差別的な意見を持たない」という人は存在しないのではないかと思いますね。

布施 まあ、「障がいとして認定されたいかどうか」という考え方をしている時点で、それが差別的な考えだという側面もありますね。

金子 学校教育では、「全員が同じレベルのことを同じように出来るよう指導する」という考え方がありますよね。そのせいか、「誰でも出来るようなことが出来ない」という人に対して「異質だ」と周囲が捉えてしまう傾向があるようにも思います。



▲発達障がい関連の本がたくさん！

布施 それは、どういった理由で？

金子 以前は発達障がいの症状には名称すらありませんでした。でも、そうだったからこそ当時は健常者とも共存できていた部分もあったのではないかと思っています。例えば、ある人が誰にでも出来て当たり前のことを、もし出来なくても、それを「個性」として許容していたように思えます。しかし、現在は制度化されたことで、「発達障がい」をこれまでより「特殊なもの」として扱うような風潮になってしまったのではないかと思うんです。

布施 それもまた難しい問題ですね。



▲プロジェクターも完備し、年間100を超える各種イベントにも対応しているフリースペース。



布施 金子さんは、自身が発達障がいだと分かった時はどんな気持ちでしたか？

金子 正直なところ私は「救われた」と思いました。それまでは「社会に適応できないのは自分のせいだ」と思っていたんですが、それが障がいに起因するものであったのが分かって、すごく心が軽くなったように思いました。

布施 そう思える人がいるなら、発達障がいに関する制度が敷かれたことで良かった部分もあるということですね。

金子 でもまだ、障がいとかの判断基準に曖昧な部分があるので、私と同じような症状で苦しんでいる人でも、障がい者手帳を受給できずに悩んでいるという人もいます。

布施 判断する専門家によって診断結果が異なることもあると聞きますが。



Necco/Neccoカフェ代表  
金子 磨矢子さん  
Mayako Kaneko

### 発達障がいとグレーゾーン 周囲の理解と認知の難しさ

金子 そういった、発達障がいと思われる症状があるのに診断が下りないという人々を「グレーゾーン」と呼ぶことがあります。

布施 グレーゾーンに関してはこれまでの取材でも多く耳にしました。

金子 難しい問題だと思います。先ほど布施さんが言ったように、発達障がいの症状の中には障がいと呼んで良いのかどうかすら分からないものがあります。また、もし発達障がいの症状があったとしても、本人はもちろん、家族や周囲が「障がいだと認められたくない」というケースだって少なくありません。

布施 そうか。確かにそういう考えが出てくることもあるんでしょうね。

金子 それと、医師による診断結果も場合によって変わることがあります。当事者、家族、その他の心情を考えると、医師たちが障がいと認定すべきかを悩むというのも、無理はないと思います。

布施 つまり、障がいとかの線引きだけでなく、本人や家族の意思、症状の種類、その度は思いますが。



◀気持ちよく過ごしてもらうための空間づくりにも配慮。

布施 ここに集まる発達障がいの当事者はこのカフェではどんな様子ですか？

金子 同じ悩みを持つ人たちが集まるからか、いつも会話がとて盛り上がりがあります。それまで「自分だけではないか」と思っていた行動や気持ちなどを周りの人と共有することが出来て、嬉しそうにする人が多いですね。

布施 それだけ発達障がい社会で理解されていないからとも言えるのかもしれないですね。

金子 そうですね。普段は障がいによって抑圧され、不自由な生活を送っているという人も、ここではとても明るく、自身の話をしていっていることも少なくありません。

布施 本来のその人の姿を社会で表に出せずにいるというのはとても勿体ないですね。

金子 ここでは「グレーゾーンの会」というイベントをよく開催するのですが、このスペースだけでは入りきらない程の申し込みがあるんですよ。グレーゾーンの中から抜け出せずに悩んでいる人は社会に大勢いるんです。社会に理解してくれる人が少なく、解決も難しいので、ここに来てみんなと悩みを共有するんです。

布施 ここで行われている活動は、とても意義のある事だと思います。





サン・オフィス所属の若手俳優による演劇  
脚本・演出：坂本大河／舞台監督：的場久純  
出演：山口友紀／山口温志／伊藤暁人／高田淳之介

当日は、生憎の雨模様。冷たい雨が静かに降る中、本誌の読者を始めとして、一般の観覧者、出演者のファン、福祉関連団体の人たちなど、想定以上に多くの人が来場されました。

街のそこかしこにはクリスマススムードを醸し出す装飾が溢れる12月22日、一般財団法人メルディア主催による「メルディアカフェ」が東京都文京区にあるB×ホールで開催されました。

2部構成だった同イベントの第1部の様子を大橋はるかがレポートします。

演劇もライブも内容は特別編  
客席も一体となり盛り上がる



「障がい」や「障がいのある人」に接点がありませんでした。各地に取材に赴くようになってから、多くの関係者が異口同音に語る言葉が先述の2つだったので。失敗から学ぶ経験は必ず成長へと繋がるはずの得難い経験なのだ、と改

私自身、本誌にライターとして参加するまで「障がい」や「障がいのある人」に接点がありませんでした。各地に取材に赴くようになってから、多くの関係者が異口同音に語る言葉が先述の2つだったので。失敗から学ぶ経験は必ず成長へと繋がるはずの得難い経験なのだ、と改

——さて開演です。本誌の発行元である一般財団法人メルディア事務局の後藤正善による挨拶に続いて本イベントの始まりが宣言されました。



MELDIA GROUP / 三栄建築設計  
一般財団法人メルディア事務局  
後藤 正善

MC 右手 ナギ



まずは、芸能事務所サン・オフィスに所属する若手俳優たちによる、このイベントのためだけに書き下ろされた舞台が上演されました。原案、脚本、演出の全てが本イベントのために用意された完全オリジナルの演劇です。

テーマはサンタとトナカイの「友情」。心温まるストーリーと、若手俳優さんたちの熱演に贈られる笑いと歓声で賑やかな舞台となりました。劇の中で、「失敗は成功のもと」、「大切なのは、失敗した時にどうするか」というセリフがあり、その2つがとても印象的でした。



シンガーソングライター  
水越 けいこ

3曲目の「僕の気持ち」は親子の愛を表現した曲です。本誌の読者は既にご存知だと思いますが、水越さんはシングルマザーとしてダウン症のある息子さんと一緒に暮らしています。リアルな母と子の情感を手話を交えながら歌う水越さんに対して、終演後も会場からは拍手が鳴り止みませんでした。



- 1 地図
- 2 雪の子守唄
- 3 僕の気持ち
- 4 BOY

めて思わされた瞬間でもありません。演劇の後には、本誌の連載でもお馴染みのシンガーソングライター・水越けいこさんによるオリジナルライブが始まりました。自身のアルバム「僕の気持ち」のタイトルとなった曲を含め、合計4曲が披露されました。第1部で披露された曲のセットリストをここに紹介しておきます。



## 第2回 「MELDIA Café」 開催



一般財団法人メルディアは、基本理念に忠実に、この先も障がいのある人、そのご家族、障がいのある人の生活を支える福祉関連団体の人たちを支援する活動を弛まらずに続けていきたいと考えています。一般財団法人メルディアと本誌「月刊MELDIA」の活動の一環として、より読者の皆さまとの距離を縮め、「障がい」に対する理解と認知の浸透を図るべく「MELDIA Café」と題したイベントを開催しています。今回は、第2回目の開催となる「MELDIA Café」の様子をレポートします。

取材・文／大橋 はるか



この事業所では、利用者さんたちがおせんべいの製造と販売などに従事しているそう。本誌では以前に布施博さんが取材に伺っています。さらに見渡すと、ケーキかフルーツにしか見えない「何か」が、きれいにラッピングされて並んでいます。実はこれ、石鹸だということから驚きです。クオリティや再現度はホンモノと見紛うばかり。これらを製造して提供してくれたのは「株式会社リンクライン」さんです。

こちらも以前に本誌の取材で伺っていますが、再現度というか、「ホンモノ」っぽさが堪りません。他のメディアでも取り上げられている会社なのでご存知の人が多いかもしれません。



利用者さんたちが製作した七宝焼など  
社会福祉法人 東京ムツミ会 ファロ様



新鮮な野菜とカラフルな雑貨類がいっぱい  
株式会社パソナハートフル様

### 出店と協賛を頂いた福祉関連団体や各企業



かわいくて美味しいおせんべいの数々  
コンフィデンス早稲田様



使うのが勿体ないほどかわいい石鹸の各種  
株式会社リンクライン様



#### 代表曲の披露と終盤の大合唱 会場が一体となる瞬間を目撃

クリスマスバザールを取材していると第2部が始まりました。

一般財団法人メルディア事務局の挨拶とイベント開始の宣言は同じ。続いては若手俳優さんたちの演劇です。もちろん、内容は第1部と同じですが、所々にアドリブなどを挟んで、第1部とはまた違った楽しい演劇でした。

舞台の後は、水越けいこさんの登場です。第2部では1部で披露した曲と違って、全6曲となり第2部オリジナルの構成となりました。

- 1 もろびとこぞりて
- 2 僕の気持ち
- 3 ほほにキスして
- 4 Too Far Away
- 5 この夜に
- 6 あわてんぼうのサンタクロース



「もろびとこぞりて」はクリスマス讃美歌の定番曲をアレンジしての歌唱となりました。「ほほにキスして」と「Too Far Away」は水越さん自身の往年の大ヒット曲で、後年に多くのアーティストによってカバーもされている代表曲でもあります。

情感を込めて歌い上げる水越さんの歌唱力に

#### 様々な事業所の協力で実現 クリスマスバザールも開催

第1部が終了してから第2部が始まるまでの間はホール入口部分にあるスペースでのカフェタイムです。来場された人たちに飲み物や軽食が振る舞われるのと同時に、これまでに取材をさせて頂いた福祉関連団体や企業などが出店しての「メルディアクリスマスバザール」が行われていました。

新鮮な野菜と雑貨類を販売していたのが「株式会社パソナハートフル」さんです。鮮度の高さが一目で分かる各野菜は同社の「ゆめファーム」で栽培されたものだといいます。新鮮な野菜はどれでも1個・100円という安さ。来場された人の多くが買い求めている姿が目撃されました。

実際に野菜を購入された来場者にお話を伺いました。「獲れたての新鮮な野菜が安く買えるのは嬉しい」という女性や、「これだけ多くの種類の野菜を障がいのある人たちが作っているなんて知らなかった」という男性も。

パソナハートフルさんでは野菜の他にも、社内のアート村で製作された彩り豊かな雑貨類の販売もあり、こちらも好評のようでした。

同じく雑貨類を販売していたのは「社会福祉法人東京ムツミ会ファロ」さんです。七宝焼のアクセサリなどを販売しています。これらの



水越 けいこ      大橋 はるか

閉幕後に、水越けいこさん取材する機会がありました。「今回は観客席に小さなお子さんや、年齢の高い人もいて、幅広い年齢層の前で歌うことができて幸せでした。アーティストと観客が一体となることこそが音楽の楽しみなんだなあと思います」と笑顔で語ってくれました。

取材・文／大橋はるか

一般財団法人メルディア&月刊 MELDIA編集部より  
今回の「MELDIA Cafe」開催にあたって特別協賛やご協力を頂いた企業や団体の関係者様に感謝いたします。  
株式会社パソナハートフル様、社会福祉法人 東京ムツミ会 ファロ様、株式会社リンクライン様、  
一般社団法人 障害者就労支援協会Confidence/コンフィデンス早稲田様、ご来場いただいたみなさん ※順不同





# はじまり

△水越けいこ連載▽

16



シンガーソングライター  
**水越 けいこ**

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。

## 息子の就職に関して願うこと 親子二人の挑戦はこれからも

ダウン症の息子・麗良(れいら)ですが、以前も何度か書きましたが、幼い頃は身体が弱く、病気がちでもありました。しかし、大人になるに連れ、体力面ではだいぶ健康になって来たように思います。精神面では同年代の成人男子よりは幼い部分があり、一般の人にとっては何ともないことでも、場合によって息子には苦手や不得手とするところもあるので、あらゆる事に対して親子二人で挑む日々が続いています。

最近では、息子の就職問題に対して親子二人での挑戦が続いています。周囲からは「無理をして就職させなくても良いのではないか?」という意見を頂くこともあります。しかし、息子本人も就職を望んでいますし、私自身にも「生活のメリ

ハリについてを学んでほしい」という考えがあったので、息子には就職をして「社会人」としての経験を積んでもらいたいと思っています。

ご存知の方もおられるかと思いますが、デビュー前に私も社会人として働いた経験があります。どのような業種でも同じですが、働くというのには決して楽なことではありません。「楽ではない時間」があるからこそ、オフの時の「楽しい時間」というメリハリが生まれます。

休日前の多少高揚した気持ち、休日のゆったりとした気持ち、休日最後の夜の憂鬱な気持ち。それらの心のバランスを上手く取ることで、大人としての感性や、時間を大切に作る心構えなどが養われるはずですが、それはもちろん、息子の人生にとっても、良い経験となり、糧ともなるはずですが、だからこそ、息子には就職をして社会人としての生活を経験して欲しいと思っています。

## 偉大なロックバンドと私 時間を意識した「はじまり」

最近、よく「時間」について考えるようになりました。若い頃には「時間」についてを意識したことはなく、自分の時間は永遠に続くかのように錯覚していました。逆に、何か苦しいことや悲しいことがあったとしても、「時間が解決してくれる」と考えることもありませんでした。

時間について改めて深く考えるようになったのは、ある映画を観たことがきっかけの一つになったのかも知れません。

昨年公開され、全世界で大ヒットとなった映画「ボヘミアン・ラプソディ」を私と息子と二人で観に行ってきました。

同映画は、伝説のロックバンド「クイーン」を描いた伝記映画です。彼らのデビュー時期については諸説ありますが、公式には73年とされています。私が初めてオーディションを受けたのが74年、その後デュオユニットの「姫だるま」の活動を経てソロデビューしたのが78年ですから、ほぼ同時期に音楽活動をしていたのだな、と思うと不思議な気持ちになります。

クイーンのリードボーカルだったフレディ・マーキュリーは、91年に45歳という若さで早逝したので、現在では同時期に音楽活動を開始した私の方が音楽界で過ごした時間は長くなってしまいました。

偉大なクイーンとは比べるべくもありませんが、私も彼らのように時間が経つても世界の人たちを感動させられるような楽曲を残していきたいと思っています。

私が20代で作った作品、30代で表現したこと、40代になつてからしかできなかったこと、そして今だからこそ実現できること、この先にしか叶えられないことなど、その内容と質は、それぞれの年代によって、違ふべきであるという考えが私にはあります。

アーティストが活動の後期に生み出す作品は、それまでに過ごした人生と時間で得られたものを織り込んでこそ、「志の高いメッセージ」として世の中に残るのだらうと思っています。そのためにも、これまでに過ごした時間と向き合うことが



水越けいこ「僕の気持ち」絶賛発売中!

一般的な社会人の勤務形態は、週に5〜6日働いて1〜2日ほど休み、年に何度か連続休暇を取る、という場合が多いですよ。私はできるだけ息子にはこれと同じような形態で働いてもらいたいと思っています。1年をこのような勤務形態のサイクルで過ごすことで、「働く時はしっかりと働いて、休む時はゆっくりと休む」というメリハリのある生活を経験させたいという思いもあるからです。

息子は現在、就労移行支援事業所に通所していますが、この春に満期となり退所しなければなりません。そして、退所の日までは就職先を見付けなければなりません。

息子の自立を手助けできるのは、たった一人の家族である私だけです。もう少しの間、私と息子との二人の挑戦は続くことでしょう。

大切だろと思うようになりました。

時間についてを考えるようになったきっかけはもう一つあります。先にも触れたように、息子の就職先を見付けなければならぬ期限が近づいていることもあるのだと思います。

息子は26歳になりましたが、到底まだ一人で生活していく術を持ち合せているとは思えません。将来、息子が自分一人でも生活ができるようにしてあげなければ、と考えています。

限られた時間の中で、息子に何をしておあげられるのか? 何を遺しておあげられるのか? を真剣に考えなければなりません。それらを叶えられるように、私と息子と二人で時間に挑戦して行きたいと思っています。





一般的に「リハビリ」と聞くと、多くの人は訓練所で行われる運動訓練など、思い浮かべるかもしれない。しかし、野村氏が障がいのある人、特に児童に対してリハビリを行うとき、もっとも重要視するのが「遊び」なのだそう。しかし、それは「椅子取りゲーム」などの遊

**遊びから得られる多様な経験  
体験からしか得られない目標**

「作業療法士」とは、何らかの理由で日常生活で必要とされる一般的な作業に支障を来す可能性がある人たちに対して、訓練を通じて様々なサポートを行う人のことを指す。

一般社団法人・日本作業療法士協会によると、「食べたり、入浴したり、人の日常生活に関わるすべての諸活動」を「作業」と呼んでいるようだ。作業療法士は一般的なイメージで例えば「リハビリの先生」といったところか。

これまでに野村氏は、障がいのある児童を中心として、作業療法を行ってきたという。その際に行われたノウハウを元に書かれたのが、著書「遊びを育てる」だ。タイトルにもなっている「遊びを育てる」という考え方が、「作業療法でありリハビリである」とも言える。



P!NTO  
SEATING  
DESIGN

東京都港区

「作業療法士」の仕事とは？

**「目標を叶えたい人」と  
「目標を叶えさせてあげたい人」がいれば  
成し遂げられない目標などない**

作業療法士・野村 寿子さん

作業療法士として30年以上に渡って活動を続けている経験を生かし、ユニバーサルデザインの椅子のプロデュースやオーダーメイドの車椅子の製作を手掛けているのが野村寿子氏だ。

出版以来、何度も版を重ねている同氏の著書「遊びを育てる」の表紙には、後ページに掲載の障がい者アーティスト・清野ミナさんの絵が採用されている。

清野ミナさんへの取材を縁に実現した今回の取材では、東京都港区にあるP!NTO SEATING DESIGNに伺い、野村氏本人に、作業療法士という仕事、シーティングデザイナーとしての仕事、障がいとの関わり方などのお話を聞いた。

ピントシーティングデザイン 南青山店  
東京都港区南青山 6-1-24 南青 6124 Bldg. 1F  
TEL / 03-6450-5366  
<https://pinto-seatingdesign.com/>



戯を行うということだけではないと語る。

氏が定義する「遊び」とは、例えば子どもが散歩に行ったとき、溝があったら嵌ってみたり、穴があったら指を入れてみたりといった、多くの人が幼少期に経験するであろう特異な行動や体験のことを示唆している。

「障がいがある児童の多くは誰もが幼少時代に体験するであろうことを経験していない場合が多い」と言っている。「何かを触った時に感じるはずの、冷たい・熱い・硬い・柔らかい、痛い・気持ち良い、そういう経験が圧倒的に少ない」ことが多いのだと。

例えば、歩くことが困難な人に対して、介助者がその人をわざわざ溝に入れてみたり、といった経験をさせてあげることが、恐らく無いだろう。

しかし、「歩けないこと」と「経験をしないこと」は関係の無いこと。障がいがあるというだけで、それらの経験を制限されてしまうことに繋がりが無いはずだ。

野村氏は「障がいがある」というだけで「制限されて当たり前」だという風潮が世間にはあるかもしれないが、そこが問題だと言っている。だから児童に対してのリハビリとは、その多くが『遊び』の中に存在するのだ、とも。

確かに幼少期特有の行動は、成人からすると意味を成さない様な特異なことであっても、それが現在の日常生活の根底の一部に息づいているはずなのは間違いない。

その経験が少ないということは、それだけ日常

生活を支える要素が他の人より少ないということともなる。それが不足していることで、日常生活において不利になり得る場合があるという氏の説には納得できる。

また、「子どもたちの遊びを自分が一緒に体験することで見えて来ない新しい発見が少なからず存在する」とも言っている。

歩く事が困難な人が、散歩をしたからこそ感じられた何かがあったり、視覚に障がいのある人だからこそ感じられた空気感がある。その場に一緒にいたからこそ感じられた何かが存在している。「必ずそれは自分の経験となつて自身の生活を豊かにするはず」だという。

野村氏自身、「そういった体験と経験値を積んで来た事が現在の生活の基盤になっている」と言い、氏が創り出すユニバーサルデザインを施された椅子の設計思想にも生きているのだと。

当たり前前の経験を積むことがいかに大切なのかを、自身が深く実感しているからこそその発言であると言えらるだろう。





作業療法士歴33年。年間300件を超える採型を行い、1万人以上の姿勢に関する相談や、様々な姿勢に関する悩みを解決。5年間で累計17万台販売のp!ntoをはじめすべてのピントシリーズをデザイン。著書、講演なども多数。(HPより)

## 北風と太陽と旅人の関係性 「利害の一致」で目標を達成

作業療法士とリハビリを受ける側の「関係」について、寓話「北風と太陽」を例にして野村氏が持論を語ってくれた。

——「北風と太陽」ある旅人の服をいかに脱がすか？ を北風と太陽が競っていた。北風は強く風を吹いて旅人の服を無理矢理に吹き飛ばして脱がそうとし、太陽は暖かい日差しを浴びせて旅人が自ら服を脱ぐように仕向けた。北風が吹くと旅人は服を固く閉ざしてしまいが、太陽が暖かく照ると旅人は笑顔で自らの服を脱いだ。

これは、イソップ寓話（イソップ物語）の中に登場する有名な話なので物語のディテールをご存知の人も多いはず。「人を動かすのは簡単ではないので自分から動くように仕向けることが大事だ」という教訓を示唆してゐる。

この寓話の中に登場するキャラクター同士の関係性が、リハビリを受ける側と作業療法士の関係に似ているという。

寓話の中に登場する旅人が求めていたのは、風によってもたらされる寒さでは



なく、日照により暖かさを供給されることだったはず。

例えば、「腕を動かせるようにしたい」という、身体機能の改善を求める人がいたとする。その場合、「動かせるようにしたい」を主眼に置くのではなく、「動かせるようになったら何がしたいか」を改めて掲げてもらい、リハビリを受ける側の「叶えたい」と、作業療法士側の「叶えさせてあげたい」ということの双方を明確化すると目標達成までのロードマップやビジョンがはっきりとそうなる。ただし、「目標へのアプローチを誤ってはいけない」、「アプローチは重要である」とも。

アプローチさえ誤らなければ、双方の「利害の一致」となるという。「利害が一致すれば、ある目標を『叶えたい人』と、それを『叶えさせてあげたい人』の両方がいるのだから、それを達成できないはずがないんです」と氏は強く言い切った。その言葉には強くはつきりとした意志が感じられたのが印象的だった。

## 「障がい」に対する考え方は 「自分の事のように思うこと」

作業療法士の仕事についてだけでなく、現在の障がいを取り巻く環境についてや、野村氏が持つ「障がい」の考えも聞いてみた。

「障がいに対する考え方」と「障がいのある人に対する思い」についての質問に対して、長い沈

野村氏が育った環境では、「障がいのある人が身近な存在だった」という。その経験があることによって、相手のことを思う、相手の立場になって物事を考える、相手と一緒に目標を決めて一緒に頑張る、ということの根幹を成す基本理念を培い、果ては使う側の身になってシーティングデザインを行う、という現在の氏の活動に具現化されているのかもしれない。

野村氏は作業療法士の仕事に関して「日常生活を送る作業の前に『日常生活とは何か？』どう

捉えるか？」をまず考える必要がある」と説いてくれた。これが野村氏流「作業療法士」のポイントとなるだろう。

人の一生である「人生」は、日常生活の積み重ねである。「日一日と日常生活を積み重ねて行くことが人生であるなら、「日常生活を支える」ことは自分以外の誰かの「人生を支える」ことにもなる。野村氏が語った「叶えたい目標がある人、それを叶えさせるために支える人、その双方がいれば達成できないことなど何もなし」という作業療法士の存在意義は、とてつもなく大きく、そして、限りなく重い。



俳優・脚本家・演出家  
**渡邊 希望**  
Nozomu Watanabe

作業療法士／  
シーティングデザイナー  
**野村 寿子**さん  
Hisako Nomura



18年の11月に再び那須地域を訪れる機会を得て、彼女のお父さんが経営しているギャラリーにもお邪魔することができました。

以前に取材した人を再び取材する機会など多くはありません。もう一度ミナさんと会って話すことで、前回の取材では知ることができなかったこと、感じることもできなかったもの、それらを新たに得られるかも知れないという期待感が私の中に入り込みました。

私がギャラリー・バーンに到着した時、清野家のお父さん、お母さん、お兄さん、お姉さんの4人がいました。画廊の中を見渡すと、観覧者にと交じって仕事の手伝いをしているミナさんの姿が目に入りました。

チーフや構図、色使い、緻密さは彼女の作品に間違いないと確信できる数点の新作を見付けることができました。私は、ミナさんの作品が大好きだと自負しているので、それを見紛うはずがありません。

新作を鑑賞しながら、以前にお会いした時のことを思い出していました。初めてお会いしたためか、取材をとんでも恥ずかしがっていたこと、時折り見せる笑顔がとても素敵で印象的だったことなどを回想していました。

と、ようやくミナさんの手が空いたとのことなので、私は彼女に声を掛けました。

彼女が「人見知り」だということ前回の取材で知っていたので、ご家族の人たちと談笑しながら、少しずつ自身のことを聞いてみようかと思っていました。しかし、ミナさんは私のことをよく覚えてくれていたので、彼女から私の方に歩み寄り、言葉は少ないながらも積極的にコミュニケーションを取ってくれました。私の最初の心配など必要なく、全くの杞憂でした。

前回は、アート展に参加するアーティストの一人としての「清野ミナ」さんを取材するというのが本題でした。しかし、今回は障がいがあったとしても他の人に負けない才能を発揮する一人の個人としての取材です。

まずは、彼女の近況を聞いてみました。ギャラリーの手伝いをしたり、相変わらず作品を描くことに没頭している時間の他に新しい趣味も増えたそうです。

最近の趣味はタブレットの地図アプリを使用して世界各国の様子を見て回ること。それがきっかけになって「沖繩に行ってみたくなった」といいます。

また、「食べ物好き嫌いはいらないけれど、あんなにだけは苦手」だなどという他愛もない会話を交わしたりしている中で気付いたことがありました。彼女の話しぶりは前回より明らかに笑顔の時間が増え、私と目が合う回数も確実に増えたのを感じました。

ここでふと、話題が私自身のことになり、前回を持ち合わせていなかった本誌の肩書が入った名刺を改めて彼女に渡しました。

ミナさんは、私が手渡した名刺を両手でしっかりと持ってしばらく見つめた後、丁寧に仕舞いしました。その仕草がとても可愛らしく、「自分のことを相手に話すのが苦手」で「絵を描くことが好き」な一人の女性なのだと思われ、気付かされることになりました。



障がい者の「声」を聞く

# つむぐ

～こえをきく～

取材・文  
渡邊 希望

俳優・脚本家・演出家

1988年神奈川県生まれ。大学時代に現代小説を専攻。2015年に「劇団ショートホープ」を立ち上げる。俳優・脚本家だけでなく、演出家としても活躍し、音響も手掛けるなど、多岐に渡って才能を発揮する。ハイペースで脚本&演出をこなす。その舞台はどれも好評と人気を博している。



栃木県那須塩原市でアーティストとして活動する清野ミナさん。

障がいがありながらも多くの作品を精力的に発表し続けています。これまでも何度も各地で個展が開催され、作品のうちから書籍の表紙にも採用されるものがあるなど、その活躍ぶりはとても顕著です。

私がミナさんに初めて会ったのは本誌がまだ創刊されて間もない頃、17年の11月でした。取材のために伺った、栃木県北西部の那須地域で開催されていた障がい者アーティストたちによるアート展である「つながるひろがるアート展」の展示会場の一つでもあったギャラリー・バーンのオーナーの娘が清野ミナさんでした。

ミナさんが作り出すアート作品は、どれもが細密かつ緻密で、モチーフ、構図、配色、精密さ、観る側を圧倒する力などは他の現代アートの作家たちの作品に一步も引けを取りません。

最近では、前ページに掲載の作業療法士・野村寿子さんの著書「遊びを育てる」の装丁画にミナさんの作品が採用されるなど、その活躍ぶりには目覚ましいものがあります。

前回お会いした時は、アート展を主眼に置いた取材だったため、それに参加するアーティストの一人として、作品の製作に関するなどを取材させてもらうだけでした。

障がい者の「声」を聞く

## つむぐ

～こえをきく～

時、最初におっさんが言った。この怪我でも勝て

B おっさん。おっさんが試合直前になってビビっちまってるのも分かる。でもな、試合に出るって決まった時、最初におっさんが言った。この怪我でも勝て

A 頼む、試合には出るな

B おっさん。おっさんが試合直前になってビビっちまってるのも分かる。でもな、試合に出るって決まった時、最初におっさんが言った。この怪我でも勝て

A そのボクシングが出来なくなってもいいのか。お前のボクシングへの愛はそんなものか

B 意地悪なこと言っなよ。あと必死なのは分かるけど、ダメージそれ

A 頼む、試合には出るな

B おっさん。おっさんが試合直前になってビビっちまってるのも分かる。でもな、試合に出るって決まった時、最初におっさんが言った。この怪我でも勝て

A 俺は、その怪我で引退したんだ

B それは初耳だな。道理でこの怪我に詳しくなかった

A その時、医者は俺を止めた。それを振り切って試合に出て、ボコボコにやられて、ボクシングも出来なくなつて、その試合が原因で現役を引退した

B なんだ試合直前になってビビってんのか？

A ああ、そうだ。ビビってる。お前が壊れちゃうのが怖い

B おっと、珍しく素直に返されるとびっくりするな

A お前までそれで選手生命が終わっちゃうたら、俺は立ち直れねえ

B じゃあ今まで俺にやらせたトレーニングはなんだったんだ。戦えもしないのにやらされてたっていうのか

A そうじゃない。だが、今は治療に専念すればもっとちゃんと治せる

B 絶対にかい？

A 絶対にだ

B 分かった。絶対じゃないってことだな。おっさん言うてたもんな。絶対はないって

A 頼む、考え直してくれ

B おっさんこそもう一度考え直してくれよ

A なんだそこまでして、今、試合に出たいんだ

B おっさんが鍛えてくれた体は今しかないからだよ。この体は、明日の試合に合わせておっさんと二人で作ってきたんだ。今、俺が試合に勝てるのかどうか、それは今しか分からない

A ボクシングが好きなんだな

B もちろん

A どうしても出るのか

B ああ。当時のおっさんはボクシング出来なくなつちまったけどさ。今の俺には道標がある

A 道標？

B おっさんが通ってきた道っていう道標がな。この道に一番詳しいおっさんに道案内してもらって、俺はその通り進むだけさ。あんたが怪我しておしゃかになつたお陰で、俺は道順を覚えてもらえたってわけだ。よかったな、無駄にならなくて

A 俺はお前のかませ犬か何か？

B いいじゃねえか、かませ犬。俺が引き立つてことだろ

A 上等だ。俺はもうビビらねえ。お前こそ試合でビビんなよ

B おっさんが俺の地図だ。何にも怖いものなんかねえよ



## 地図

「みなさんとの対談は「懐かしいのに新鮮」でも表現すれば良いのか、不思議で楽しい時間を私は過ごせたのでした。」

最初に会ってから1年が経過して、みなさんと再会してから一つ考えるようになったことがありました。それは、私がこれまでの人生で出会って来た人たちのことを何も知っていなかった、ということでした。上っ面だけで、数度の会話だけで、その人の全部を知っているかのように錯覚していただけだったことを。相手の事をもっと知りたい、と思うのは私のエゴかも知れませんが、それでも「その人のことをもっと知ることが出来ていたら」という悔悟にも似た気持ちに沸き上がってきたことを否めない私があります。

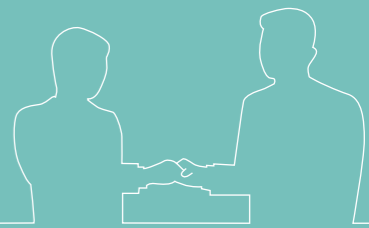
今回の「ものがたり」をみなさんとの対談の全体をイメージして書きました。

キーワードとなる言葉として「地図」を用いましたが、それはみなさんの最近の趣味である地図アプリの閲覧から連想したものではありません。

みなさんの描く緻密で精密な作品のいくつか「地図」に見えることから想起したものです。

不思議な一致でもあると思う、今回のタイトルとキーワードに起因してみました。





## 障がい者と家族の法律問題②

### 「遺言」と「遺留分」の問題



表参道パートナーズ法律事務所  
弁護士／安部 晃平

1986年福岡県出身。2012年上智大学法科大学院修了。2013年弁護士登録。2016年より現職にて、中小・ベンチャー企業の労務管理、訴訟を中心に、各種企業法務を取り扱う。表参道パートナーズ法律事務所所属。

### 特定の人に全財産を遺すこと それが可能かを法律から考察

前回の記事では、相続に備えて、遺言で何を誰にどれくらい分けるといつことを決めておくことができるというお話をしました。

例えば、遺言を作成する人に奥様と子ども2人がおり、財産として預貯金が3000万円あるというケースでみてみましょう。この場合、遺言を作成しておらず、法律で決められた割合に従って分配するとすれば、奥様が1500万円、子どもがそれぞれ750万円ずつを相続することになります。

他方で、遺言を作成すれば、奥様に2000万円、子どもそれぞれに500万円ずつというよう

な分け方を決めておくことができます。極端なケースでいえば、子どもとは疎遠であるという理由で、奥様に3000万円全額を残すというような遺言も作成することが可能となります。

このような場合、子どもは一切財産を相続することが出来ないのでしょうか。ここで出てくるのが「遺留分(いりゅうぶん)」という制度です。とても難しい制度ですので、ざっくりとしたコンセプトをお伝えしたいと思います。

前記のとおり、遺言で奥様に全財産の3000万円を残すことを決めておけば、子どもが相続する財産は0円になります。

しかし、法律は、遺言の内容に従えば相続する財産が0円になる人に対しても、一定の割合は相続できるように保障しています。この保障された割合のことを、「遺留分」と呼びます。

具体的には、次の割合が遺留分のベースになります。

- ① 亡くなった人の上の世代(直系尊属といえます)のみが相続人の場合は相続財産の3分の1
- ② それ以外の場合は、相続財産の2分の1

このベースとなる割合に、前回お話した「法定相続分」の数字を掛けると、その人の遺留分が算出されます。

前記のケースでいえば、直系尊属以外の相続人がいるので、遺留分のベースとなるのは相続財産の2分の1です。そして、遺言では財産を貰えないことになってきた子どもの法定相続分はそれぞれ4分の1ずつです。そのため、2分の1に4分の1をかけた8分の

1が、子ども1人あたりの遺留分の割合になります。

相続財産は3000万円でしたので、これに8分の1を掛けると、375万円になります。この375万円が、子ども1人あたりに保障された遺留分になります。



### 相続人の生活を守るために 遺言を遺す者ができる配慮

もう一步進んだお話をしましょう。

遺言を作成する人に奥様と子ども2人がおり、財産として預貯金が3000万円あるという状況は同じです。子どものうち1人は障がいがあり、遺言者としては、その子の生活のために多くの財産を残したいと考えています。他方で、もう1人の子は疎遠なためその子には財産を残さなくてよいと思っています。

そこで、遺言者は、奥様と障がいがある子にそれぞれ1500万円ずつ、もう1人の子に0円の

財産を残す遺言を作成したとします。

この場合、財産が0円だった子の遺留分はどうなるでしょうか。遺留分の額は、前記と同じく375万円になります。そして、その子は、この375万円を、奥様と障がいがある子に対して、2人が相続した財産の額に従って案分して請求することができます。

つまり、奥様と障がいがある子は同額ずつを相続しているのです。もう1人の子は、それぞれに等しい割合で合計375万円を請求することができます。すなわち、奥様と障がいがある子に対してそれぞれ187万5000円ずつを請求することができます。

結果として、障がいがある子は1312万5000円しか相続できなくなります。

しかし、これでは、障がいがある子の生活のために1500万円を残したいと考えた遺言者の希望を実現できない結果となってしまいます。遺言者としてとれる方策は何かないのでしょうか。

このような場合のために、遺言者は、遺言の中で、遺留分を請求する順番を決めることができます。

前記のケースで、障がいのある子に何とかして1500万円を残したいと考えた場合は、まずは奥様に対して遺留分の請求をするように決めておくことができます。そうすれば、財産が0円だった子は、まず奥様に対して375万円の請求をせざるを得ません。

こうすることによって、遺言者の希望どおり、障がいがある子には1500万円全額が残ることになります。

遺留分に関しては、相続の世界では頻りに問題となります。

遺言者からすれば、自分の希望が実現できるかを考える上で不可欠です。相続によるトラブルを予防するという遺言の効力を最大限に発揮させるためにも、遺留分に配慮して遺言を作成することが肝心です。

相続人からすれば、たとえ遺言では相続財産が無かったとしても、何か請求できるきっかけになるかもしれません。

遺留分はとても難解ですので、遺言を作成するときや相続が発生したときには、ぜひ近くの弁護士に相談してみてください。

分からない時、  
解決しない時は  
迷わず弁護士に  
相談しよう。



表参道パートナーズ法律事務所  
東京都港区南青山6-2-9 南青山NYKビル9F  
TEL: 03168041371



<http://omt-partners.jp/>

# 募集&告知

## 各種募集と告知

布施博または大矢真那が取材に伺う「訪問先」を募集しています。  
また、当財団に対するご支援とご協力をお願いを掲載しています。

### 布施博&大矢真那の訪問先／取材先を募集しています



障がい者を雇用する企業や団体、障がい者施設、学校、場所、スポーツ会場などへ布施博または大矢真那が直接お伺いして取材させていただき、本誌にてご紹介いたします。

#### ■応募条件

障がい者を雇用している(雇用予定を含む)企業や団体、障がい者施設(学校を含む)、障がい者が活躍されているスポーツ団体、スポーツ大会、地域、場所など

#### ■お問い合わせ

下欄にある「一般財団法人メルディア」事務局まで電話またはメールなどにてご連絡ください

※取材に関して費用等は一切かかりません



## 募集や告知などの情報を無料で掲載しています

一般財団法人メルディアが発行する「月刊メルディア(本誌)」では、障がい者を雇用する企業や団体、各種の養護施設または学校などの募集ことや告知などをP27の情報ページに無料で掲載しています。「障がい者を雇用したい」「障がい者施設で開催するイベントを告知したい」などがありましたら、下記の一般財団法人メルディア事務局までお問合せください。掲載に関しましては情報ページ用の「フォーマット」をご用意してあります。フォーマットに則して広告内容を準備していただく必要があります。掲載基準ならびに掲載フォーマットにつきましては事務局までお問い合わせください。

一般財団法人メルディアの活動方針ならびに本誌の編集方針にそぐわない内容、冊子の配置協力をお願いしている各企業の基準に抵触する内容、営利目的のみの内容、特定の宗教や信条に関わると判断される内容、反社会的と判断される内容、公序良俗に反する内容等については掲載をお断りする場合があります。あらかじめご了承ください。

## 一般財団法人メルディアへのご支援とご協力を募集

障がいのある子供を持つ親の苦労や将来への不安は、他の人には計り知れないほど大きなものがあります。さらに、それが寡婦・寡夫家庭であった場合、経済的な負担、苦労、不安なども一人で背負わねばならない状況に置かれることもあります。

私たち「一般財団法人メルディア」は、会報誌「月刊メルディア」を通じて、誌上に厳選した有益な情報を掲載することで、周囲との情報交換もままならず不安を抱える人たちの情報源として、その一助となることを目指しています。

私たち「一般財団法人メルディア」の活動に対するご支援(取材協力・協業の相談・各種支援・支援金・寄付)など、当財団の趣旨に賛同してご協力を頂ける企業・団体・個人を募集しています。下記にある当財団の事務局までご相談ください。

### お問い合わせとご相談はこちら 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F  
一般財団法人メルディア 事務局／担当：後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか)宛て  
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com



### ホームページと Facebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話など、情報が盛りだくさん! Facebookページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



MELDIA <https://meldia.org/>

facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



# イベント情報&店舗情報など

## 障がい者が働く企業や団体からの情報や告知

障がい者が働く施設や団体のイベント情報、その他の情報、各種の告知、一般財団法人メルディアからのお知らせなどを掲載しています。

### Shop

#### コンフィデンス早稲田 / 早稲田'S 愛せんべい 販売



■場所  
東京都新宿区西早稲田2-18-22  
TEL: 03-6233-9714  
■営業時間  
AM10:00 ~ PM3:45(月曜~土曜)  
■定休日  
日曜・指定日  
■URL / <https://confidence-s.com/>  
■店舗紹介  
早稲田通り沿いにある赤と白の建物が目印です。1階の店舗では「早稲田'S 愛せんべい」の販売を行っています。煎餅の販売だけでなく、イベントなどの贈り物の注文対応や外部の催しでの販売も承っています。



### Cafe

#### hikari no café 蜂巢小珈琲店



■場所  
栃木県大田原市蜂巢295  
TEL: 0287-54-2255  
■営業時間  
AM11:00 ~ PM5:00 (L.O./PM4:30)  
ランチタイム AM11:00~PM2:00  
※毎月、第三水曜日が、全体研修のため  
13:30オーダーストップ 14:00閉店 となります  
■定休日  
日曜・月曜  
■店舗紹介  
廃校となった小学校をリノベーションした素敵なカフェ。新鮮野菜たっぷりのランチがおすすめです。  
■URL / <http://www.hikarinocafe.com/hachisu/>



## お便り募集!

あなたが知りたいことを  
あなたに代わって編集部が調べます

読者の方々が障がいに関して「知りたいこと」、「疑問・質問」、「法的な情報」、「扶助情報」などをみなさんに代わって編集部が調べ、取材し、記事にしたいと思います。「こんなことを調べて欲しい」、「こんな情報があるが詳細が知りたい」など、どんなことでも構いません。左ページに記載の「一般財団法人メルディア事務局」まで、メールまたは郵便にてお送りください。

※お寄せいただくご要望の全部にお応えすることはできません。また、掲載する記事に関してはメルディア事務局ならびに編集部にて選択させていただきます。予めご了承ください。



一般財団法人  
MELDIA

本ページに情報を無料で掲載しています。情報掲載を希望される場合は左ページ(P28)の情報掲載要項を良くお読みになり、一般財団法人メルディア事務局までお問い合わせください。掲載ガイドラインや記事のフォーマット等に関しても一般財団法人メルディア事務局までお問い合わせください。 ※無料掲載規定に合致しない案件は掲載をお断りする場合があります。予めご了承ください。



# 湘南ベルマーレ

## ホームゲーム観戦チケットプレゼント



©湘南ベルマーレ

### ■ホームゲーム一覧


開催日	キックオフ	対戦相手	申込〆切
3/17 (日)	16:00	ベガルタ仙台	3/3 (日)
4/6 (土)	16:00	ジュビロ磐田	3/23 (土)
4/14 (日)	17:00	松本山雅FC	3/31 (日)

療育手帳・精神障害者  
保健福祉手帳をお持ち  
の方と、介添者の方1  
名を湘南ベルマーレ  
ホームゲームに抽選で  
ご招待いたします！

### ■応募から観戦までのステップ

**STEP 1 応募**

HPの応募フォームへ  
必要事項をご入力



応募フォーム  
はこちら

<https://meldia.org/privacy/ticket/>

ホームページからも応募できます

財団 メルディア  検索

**STEP 2 メール**

応募完了メールが  
届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方は「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話くださいませようお願いします。

**STEP 3 抽選**


当選者へチケットを  
お送りします

当選者の方へ当選メールを送信後、応募フォームにご入力頂いた住所宛にチケットをお送りいたします。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

**STEP 4 観戦**

スタジアムへGO！


チケットに記載のゲートよりご入場ください。どうぞ観戦をお楽しみください！




※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。あわせてご了承ください。

### ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレ HP をご覧ください

 JR 東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行

 圏央道寒川南 I.C. より湘南銀河大橋、国道 129 号線経由で約 15 分 (国道 129 号線に随時「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

### ■お問い合わせ先■

〒163-0632 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F  
一般財団法人メルディア 事務局 担当：後藤・鷺坂  
TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日～金曜日 9:30～18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承くださいませ。

# 16 MELDIA CONTENTS 2019 APR.

- 01 | 障がい者を応援**  
手づくりマーケットin新宿区
- 06 | 一般財団法人メルディアとは?**  
メルディアの基本理念、財団概要、支援事業
- 07 | 布施博が訊く**  
Necco (Neccoカフェ) / 東京都新宿区
- 11 | MELDIA Café - Christmas issue -**  
第2回メルディアカフェ開催詳細
- 15 | 水越けいこ連載「M size / はじまり」**  
水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る
- 17 | 作業療法士の仕事とは?**  
作業療法士&シーティングデザイナー・野村寿子
- 21 | つむぐ ～こえをきく～**  
脚本家・渡邊希望が障がい者の「声」を聞く
- 25 | 弁護士が教える「障がい者と法律」**  
表参道パートナーズ法律事務所 / 弁護士・安部晃平
- 27 | イベント情報と店舗情報・その他**  
障がい者が働く施設や団体の情報・店舗情報など
- 28 | 募集と告知**  
取材先募集と協賛の募集など

月刊 MELDIA Vol.16 / 2019年2月25日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア事務局  
 発行人 / 小池信三  
 事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章  
 編集 / 株式会社 サン・オフィス  
 編集人 / 東宮恵美  
 編集長 / 山口慎市  
 進行 / 東宮恵美、山口慎市、谷田貝亘介 (新村印刷)  
 編集部 / 東宮恵美、村田保則、都筑亮太、渡邊希望  
 ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、安部晃平、山口慎市、渡邊希望、横関寿寛、大橋はるか

カメラマン / 吉岡晋 (PMJ)  
 ヘアメイク / 関谷佳代子 (Dharma)  
 デザイン / 有限会社 フレッシュャー・アド  
 印刷製本 / QREAS株式会社  
 協力 / MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計、  
 新宿区、新宿区 福祉部 障害者福祉課 事業指導係、  
 新宿区内障害者福祉施設共同バザール実行委員会、  
 Necco/Neccoカフェ、金子磨矢子、BXホール、  
 P!NTO SEATING DESIGN南青山店、株式会社ピーエーエス、  
 野村寿子、木島拓郎、ギャラリー・バーン、清野隆、清野ミナ、  
 表参道パートナーズ法律事務所、株式会社Dharma、  
 株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、  
 株式会社PHOTO MIO JAPAN、新村印刷株式会社

※敬称略/順不同

本誌の無断転載・複製を禁じます

2017-2019©All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア / 月刊 MELDIA  
 MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 / 株式会社 サン・オフィス



次号予告

## MELDIA VOL.17

2019年3月25日 発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632  
 東京都新宿区西新宿 1-25-1  
 新宿センタービル 32F  
 一般財団法人メルディア 事務局  
 TEL: 03-5381-3213  
 MAIL: org@gf-meldia.com

